

プログラム

第1日目 2018年7月26日(木)

会場：秋葉原コンベンションホール

8:30～9:00 **Registration**

9:00～9:10 **Opening remarks**

9:10～11:20 **シンポジウム1**

座長：松島 綱治(東京理科大学)
久保 允人(東京理科大学)

[次世代医療のオープンサイエンスを考える]

講演 9:10～10:00

S1-1 日本における産学でのパートナーシップへの期待と課題

○鈴木 忍

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 神戸医薬研究所 創薬研究アライアンス部

S1-2 アカデミアにおける開発業務で感じる産学連携への課題

○池田 隆文

京都大学 医学部附属病院 臨床研究総合センター

パネルディスカッション 10:05～11:15

ファシリテーター：

鈴木 忍(日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)

パネリスト：

池田 隆文(京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター(iACT))

岡崎 拓(徳島大学)

椛島 健治(京都大学 皮膚科)

瀬尾 亨(ファイザー株式会社 ワールドワイド R&D ES&I)

本田 孝雄(日本イーライリリー株式会社 研究開発本部エクスターナル・イノベーション・ジャパン)

松島 綱治(東京理科大学生命医学研究所)

向山 洋平(マルホ株式会社)

11:20～12:00 **JSICR 総会**

12:15～13:15 **スポンサーセミナー1**

共催：中外製薬株式会社

座長：中島 裕史(千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学 教授)

SS-1 RAにおけるIL-6シグナル抑制による治療最適化

○竹内 勤

慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 教授

[共生と病原微生物研究の最前線]

S2-1 腸管における粘膜免疫と腸内ウイルス叢の解析

○植松 智¹⁾²⁾

- 1) 千葉大学大学院 医学研究院 粘膜免疫学、
2) 東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター 自然免疫制御分野

S2-2 IFN- γ による宿主免疫系におけるオートファジー関連分子群の非標準的機能

○山本 雅裕

大阪大学 微生物病研究所 感染病態分野

S2-3 レクチン受容体を介する異物認識と免疫応答

○山崎 晶¹⁾²⁾

- 1) 大阪大学 微生物病研究所、2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

S2-4 特定腸内細菌による腸管炎症の制御における IL-17F の役割の解析

○唐 策

東京理科大学 生命医科学研究所

S2-5 真菌感染とサイトカイン

○西城 忍

千葉大学 真菌医学研究センター

15:30～15:40 コーヒーブレイク

15:40～17:20 シンポジウム3

[ウィルスと感染防御]

S3-1 重症熱性血小板減少症候群ウイルス(SFTSV)の致死感染動物モデルによる解析

山田 辰太郎¹⁾²⁾、下島 昌幸³⁾、成田 亮¹⁾、塚本 雄太¹⁾、加藤 博己¹⁾²⁾、西條 政幸³⁾、
○藤田 尚志¹⁾²⁾

- 1) 京都大学 ウィルス・再生医学研究所、2) 京都大学大学院 生命科学研究所、
3) 国立感染症研究所 ウィルス第一部

S3-2 HTLV-1感染における腫瘍と炎症を分ける宿主因子

○神奈木 真理¹⁾、永野 佳子¹⁾、サワダ レイラ¹⁾、金原 秀一¹⁾²⁾、伊藤 さやか¹⁾³⁾、
長谷川 温彦¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫治療学分野、2) University of Wisconsin、
3) 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

S3-3 Long non-coding RNA による自然免疫の制御機構の解析

○西辻 裕紀、下遠野 邦忠

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター ゲノム医科学プロジェクト

S3-4 交差防御能を有するインフルエンザウイルス中和抗体の産生機構

○宮内 浩典¹⁾、久保 允人¹⁾²⁾

1) 国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター サイトカイン制御研究チーム、

2) 東京理科大学 生命医科学研究所 分子病態学研究部門

17:30～18:30 **ポスターセッション1(1-01～1-21)**

18:30～ **懇親会**

9:00～11:10 シンポジウム4

座長：村上 正晃(北海道大学)
吉村 昭彦(慶應義塾大学)

[サイトカインの神経疾患への関与]

S4-1 特異的神経の活性化による炎症病態の制御機構、ゲートウェイ反射

○村上 正晃
北海道大学 遺伝子病制御研究所

S4-2 脳梗塞後の炎症の収束と組織修復のメカニズム

○吉村 昭彦、伊藤 美菜子
慶應義塾大学 医学部

S4-3 脊髄の障害による神経回路の再編と免疫抑制

○上野 将紀
新潟大学脳研究所 システム脳病態学

S4-4 神経と皮膚免疫の相互作用 サイトカインの観点から

○椛島 健治
京都大学 医学研究科 皮膚科

S4-5 異所性プロラクチンと脳内慢性炎症

○山村 隆
国立精神・神経医療研究センター

11:10～12:10 ポスターセッション 2(2-01～2-21)

12:20～13:20 スポンサーセミナー2

共催：サノフィ株式会社

座長：戸倉 新樹(浜松医科大学 皮膚科学講座 教授)

SS-2 アトピー性皮膚炎の病態研究における Th2 サイトカインの役割

○波多野 豊
大分大学 医学部 皮膚科学講座 教授

[サイトカインを標的としたアレルギー治療]

S5-1 Th1型喘息における super Th1 細胞由来 IL-22 の役割

○中平 雅清、善本 知広

兵庫医科大学 免疫学講座

S5-2 Th2型サイトカインを標的としたアトピー性皮膚炎の新しい治療展開

○本田 哲也

京都大学 医学部附属病院 皮膚科

S5-3 IL-22によるアレルギー性気道炎症制御機構

○廣瀬 晃一¹⁾²⁾、伊藤 崇²⁾、中島 裕史²⁾

1) 国際医療福祉大学病院 アレルギー・膠原病科、2) 千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学

S5-4 IL-33は2型自然リンパ球と好塩基球を活性化してアトピー性皮膚炎に関与する

○今井 康友

兵庫医科大学 医学部 皮膚科学

S5-5 好酸球性副鼻腔炎と気管支喘息に対する抗 IL-5 受容体抗体ベンラリズマブの効果

○藤枝 重治

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

16:00～16:40 奨励賞受賞者講演

座長：久保 允人(東京理科大学)

受賞者

AL-1 腸内細菌の修飾による腸管炎症の病態制御における Dectin-1-IL-17F 軸の役割の解析

唐 策 東京理科大学 生命医科学研究所

AL-2 気道におけるインフルエンザウイルス特異的 IgA 抗体の産生制御

宮内 浩典 国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター サイトカイン制御研究チーム

16:40～17:10 大会長特別粋講演

17:10～17:30 ポスター賞授賞式 / Closed remark